

## 新人職員紹介 昨年12月から入職したスタッフを紹介します。

 <p><b>診療アシスタント</b> 寺坂 暎 10年、オーディオ クリニック専業</p> <p>皆様のお力になれるよう 頑張ります。 よろしくお願いいたします。</p>	 <p><b>診療アシスタント</b> 岸淵 浩二 10年、ツクリレ</p> <p>安全を最優先で頑張ります！ よろしくお願いいたします。</p>
---	--

### 勉強会のお知らせ

医療・介護・福祉に係る皆様を対象に【毎月】【参加無料】の在宅医療の勉強会を開催しています。

コロナウイルス対策としてZOOMを利用したオンラインでの勉強会です。

※開催時間：18：30～19：30  
※事前にお申し込みが必要で  
※参加人数に限りがあります  
詳しくはホームページ又は毎月の勉強会ご案内をご覧ください。お気軽にご参加ください！

**対策推進中**

### お食事のことで困っていませんか？

当院には管理栄養士・言語聴覚士がいます。当院の訪問診療を受けておられる方はもちろん、そうでない方もお気軽にご相談ください。皆様の在宅生活をサポートいたします

訪問診療のあれこれをラジオ番組で放送中!!

日時 毎月第3木曜日 14:30～(10分程度)

放送局 FM ぐらしき 82.8MHz パーソナリティ 大谷 利文

「訪問診療とは?」「在宅療養を支える職種は?」「家族の負担は?」など、在宅医療に関する話を分かりやすくお伝えする番組です! FMぐらしきのホームページでも聴けますので、ぜひ聴いてください! ゲストとして、つばさクリニックのスタッフ+αが月替わりで登場します!

企画・運営 エフエムぐらしき 協賛 つばさクリニック

82.8 MHz FMぐらしき

※今後の放送予定： 1月21日・2月18日・3月18日

<p><b>つばさクリニック</b></p> <p>定期訪問 午前9時～午後5時 緊急往診 24時間対応</p> <p>診療科目 訪問診療・内科 循環器科・呼吸器科・整形外科 〒710-0047 岡山県倉敷市大島534-1 TEL 086-424-0283 HP: www.tsubasa-clinic.net</p>	<p><b>つばさクリニック岡山</b></p> <p>診療科目 訪問診療・内科・小児科 〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町1-7-7 TEL 086-254-0283 www.tsubasa-okayama.net</p>
---	--

# つばさ新聞

## 謹賀新年

### 理事長のコメント

明けましておめでとうございます。いつもとは違うコロナ禍でのお正月でしたが、皆さまはいかがお過ごしでしたでしょうか。

昨年は仕事に対する価値観が大きく変化した1年でした。テレワークや時差出勤の導入、オンラインツールを用いた会議や情報共有など、様々な業種で働き方への変化をもたらしました。当院の取り組む在宅医療においても、様々な場面でオンラインが活用される事が多くなりました。オンラインならではのメリットを感じる反面、顔を直接合わさないオンラインでは、在宅療養を支えるために重要な医療介護間の【連携】において困難さを感じることがあります。患者さんの在宅療養をチームで支えるためにも、早く以前のような、顔を合わせながらの連携に取り組める状況に戻ることを願うばかりです。

まだこのような状況が続くことが考えられます。どのような状況であっても、地域の医療介護を支える皆さんと「顔の見える関係」を築き、チームワークで患者さんの療養をサポートしていきたいと考えております。そして一人でも多くの患者様の「家にいたい」を支えていきたいと思っております。

本年もつばさクリニックをどうぞよろしくお願いいたします。

(医療法人つばさ 理事長 中村 幸伸)

### 次の症状がある方は 事前(診療前日まで)にお知らせください。

- 1 風邪の症状や発熱がある。
- 2 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。
- 3 患者様本人や同居のご家族に新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者の疑いがある。



※患者様本人だけでなく、同居のご家族に同様の症状ある場合もお知らせください。  
※診療時には、患者様及び同席者の方もマスクの着用をお願いします。

昨年より、患者さまやご家族様には、感染症対策として様々なお願いをさせて頂いております。大変ご不便をお掛けしておりますが、全スタッフ一丸となって感染防止に努めておりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。(スタッフ一同)

# つばさ2020 振り返る

## 食支援

餅はダメって言われたけど・・・それでもお雑煮が食べたい！  
管理栄養士と言語聴覚士が、普通のごはんが食べられない患者さんでも食べられるお雑煮の提供に取り組み、「日本の正月」を味わっていただきました。



## 院長交代

第60次南極観測隊として南極昭和基地へ行っていただいていた岡田先生が無事帰国。院長が井戸先生から岡田先生に交代しました。



## ラジオ番組

毎月第3木曜日に、FMくらしきにて「教えて！訪問診療」を放送しています。



## 本の出版

中村先生がこれまで出会った患者さんとのエピソードを綴りました



## 災害訓練

緊急連絡網を用いた訓練や災害時の行動を再確認しました。

## 訪問講座の実施

ソーシャルワーカーによる在宅医療の制度についての勉強会を開催しました。



## コロナウイルス感染対策

コロナウイルス感染拡大に伴う対応が必要になりました。



## オンライン勉強会

長らくお休みしていたKurashiki-Home care-Meetingとカフェつばさを合同で再開しました。



## KHM+カフェつばさ オンライン

2020.11.27  
18:30~19:30

テーマ  
「在宅医療における  
新型コロナウイルス対策」



## Dr. 岡田の 南極物語リターンズ



### 第4回：「ドームふじ基地へ移動」

2018年11月10日に昭和基地を出発したドーム旅行隊8名は、南極大陸の中継場所であるS16地点で機編成を終えた後、SM100雪上車4台、PB雪上車2台の計6台に乗り、燃料や食料、観測機器を搭載した機30台を牽引しながらドームふじ基地に向かいました(写真1)。PB雪上車が先頭で除雪しながら、SM100雪上車が時速8kmペースで続きます(写真2)。僕自身も雪上車を運転します(写真3)。ドーム基地に近づくにつれ標高が上がり、出発時にマイナス10℃だった気温は高度3500mを越え、マイナス30℃まで低下。寒さと高度障害に苦しみながら1000kmを踏破し、12月6日ついにドームふじ基地が見えてきました(続く)。



(写真1)



(写真2)



(写真3)



## 食べて健康、喋って健口！

～つばさのリハビリテーション～

言語聴覚士 川上 晶美

今回は私がリハビリを担当させていただいているYさんについてご紹介したいと思います。Yさんは栄養を胃瘻を使って摂っておられる方ですが、「口からも食べたい！」という希望があり、リハビリを行っています。とろみつきの水分からはじめて今ではプリンや水ようかん、アイスなどを楽しまれています。Yさんは管理栄養士のサポートも受けており、奥様も調理を頑張っておられます。

まず、言語聴覚士が飲み込みの力に合った食事の柔らかさなどの形状を管理栄養士と相談し、管理栄養士が食材ごとに調理の仕方を奥様にアドバイスしながら一緒に調理します。Yさんは奥様が調理している間に準備運動として、お口を動かしたり声を出したりするリハビリを行い、その後出来上がった食材を上手く食べられているか飲み込みの様子を確認します。これまでかぼちゃの煮物、豚汁や西京焼き、果物やケーキなどいろいろな食材で練習しました。Yさんは味の感想をはっきり伝えられる方なので、御本人の好みを聞きながら美味しいと言ってもらえる食材を考えています。

つばさクリニックの食支援では御家族だけではなく、実際に調理に携わっておられる方、介護されている方にも指導をさせていただいております。食べることについてお困り事がありましたら御相談下さい。

